



より多くの患者により早く 新薬を届ける

Amgen社はマスターデータ駆動の
インサイトで患者ケアをパーソナライズ



「Informatica MDMのお陰で、新製品の開発期間を短縮し、より多くの患者様の適切な治療を支援することが可能になりました」

Adi Rapaka氏
マスターデータ管理担当ディレクター
Amgen社

目標

医療機関に信頼できるデータを提供することで、より多くの患者の適切な治療を支援し、転帰を改善する

生物学データセットの増加に対応し、医療機関、製品、保険業者のデータに基づいて戦略的優位性を構築する

データサイエンス、人工知能 (AI)、高度なアナリティクスにグレートデータ (高品質のビッグデータ) を活用して患者ケアを改善する

重病に苦しむ患者に革新的な治療を提供する

ソリューション

Informatica Master Data Management (MDM) のマルチドメイン機能を使用して、医療機関、保険業者、製品に関する信頼できるビューを構築

Amgen社の医薬品を使用する患者とその患者ケアに携わる医療機関や保険業者などとの関係を把握

Informatica MDMとInformatica Data Qualityを使用して、バッチおよびリアルタイムの統合とデータ品質チェックを自動化

MDMからアナリティクス環境にクリーンなデータを提供して、データサイエンス、AI、アナリティクスの目標をサポート

導入効果

大規模データセットをマスター化して、新製品の開発期間を短縮し、より多くの患者の支援を実現

副作用の可能性を特定して医療機関に通知することで、患者の転帰を改善

患者と製品、医療機関、保険業者との関係を迅速に特定して、患者サポートサービスを強化

手作業を自動化してデータ管理の負担を大幅に軽減することで、マスターデータ管理チームの作業効率を向上

業務要件:

- 真の医療データサイエンス企業になるための基盤を構築
- CRMシステムおよび他のアプリケーションでマスターデータをリアルタイムにやり取り
- ビジネスの成長に合わせて新規ドメインをマスター化

Amgen社について

Amgen社は、米国カリフォルニア州サウザンドオークスに本社を構える多国籍のバイオ医薬品企業です。科学とイノベーションに深く根差し、新しいアイデアや発見に基づいて、重病に苦しむ患者のために医薬品を開発しています。

1980年の創設以来、Amgen社は満たされていない医療ニーズに応えるバイオテクノロジーの可能性を切り拓き、世界中で何百万人もの患者を支援してきました。現在は世界をリードするバイオテクノロジー企業として、重病に苦しむ患者のために革新的な医薬品の発見、開発、製造、提供に取り組んでいます。世界的に疾病率と死亡率の高い心疾患の治療において功績を上げ、心疾患患者のQOL（生活の質）向上を実現しています。

Amgen社は、革新的な医薬品のパイプラインを開発する際に、より多くの患者の適切な治療を支援できるように、自社の医薬品を使用する患者、自社のパートナー（医療機関、サプライヤー、卸売業者など）、製品の関係に加え、競合他社製品に関する公開情報を把握する必要があります。スプレッドシートやデータベースなどで収集されたデータはサイロ化されて追跡が困難だったため、同社はマスターデータ管理ソリューションを社内開発しました。

しかし、本業の成長や買収を通じて会社の規模が拡大し、社内開発のマスターデータ管理（MDM）システムでは十分な安定性と拡張性を得られなくなりました。フルタイムの従業員から成るチームが、社外コンサルタントの支援を受けつつ、ダウンタイムが発生しないように手作業による次善策を駆使しながら、必要なデータを入力して、システムをサポートしていました。心疾患を始めとする医療データセットの増加に伴い、新製品の発売準備に3〜4か月もの期間を要し、これが医薬品パイプラインのボトルネックとなっていました。

Amgen社データサイエンスおよびアナリティクス担当ディレクターのVishnu Maddileti氏は、次のように述べています。「新製品を発売するたびに大規模データセットのマスター化に大量の時間とコストが発生していました。医療機関や製品に関するデータが商業面の弱点となっていたため、これを強みに変える必要がありました」。

また、Amgen社はAIと高度なアナリティクスを活用して患者の転帰を改善したいと考えていました。例えば、大規模データセットをマイニングすることで、さまざまなインサイト（特定の患者において副作用の可能性を防止または軽減できる治療法など）を医療機関と共有できます。

Maddileti氏は、次のように述べています。「真の医療データサイエンス企業になるための基盤を構築しなかったのです。高度なアナリティクスには、人の命、特に心疾患患者の命を救える力があるため、継続的に強化していくことは当社にとって極めて重要です」。



安定性と拡張性に優れたMDMプラットフォーム

Amgen社は、完全なデジタルトランスフォーメーションを推進して、コアシステムとデータウェアハウスをクラウドに移行しました。さらに、データのマスター化を強化することをねらいに、スコアカードを使ってMDMソリューションを系統的に評価しました。その結果、Informatica MDMを導入して、Multidomain MDMで医療機関、製品、保険業者の各ドメインをマスター化しました。このソリューションには、データ品質、ビジネス プロセス マネジメント、データセキュリティの各機能に加え、リアルタイムおよびバッチのデータ統合機能も組み込まれています。

「プラットフォームが安定性と拡張性に優れていること、そしてインフォマティカが業界リーダーであることが決め手となって、Informatica MDMを選びました」と、Maddileti氏は述べています。「インフォマティカは当社のニーズと合致する最良のMDMプラットフォームを提供してくれました。デジタルトランスフォーメーションをサポートできる柔軟性を備えつつ、適切に標準化されているため、カスタマイズしすぎて保守が複雑化することはありません」。

データのマスター化を数か月ではなく数週間で完了

現在Amgen社は、Informatica MDMを使用して医療機関、製品、保険業者のデータをマスター化しています。これらのドメインと関係を迅速にマスター化できるため、MDMチームを拡大しなくても、データサイエンス、AI、アナリティクスの業務上の目標をサポートすることが可能です。その結果、運用コストを削減しながら、新しい役割、新しいプロジェクト、より戦略的な業務にリソースを割り当てられるようになりました。

Amgen社マスターデータ管理担当ディレクターのAdi Rapaka氏は、次のように述べています。「Informatica MDMのお陰で、新製品の開発期間を短縮し、より多くの患者の適切な治療を支援することが可能になりました。以前は3~4か月以上かかっていた新規データセットのマスター化も、今では4~6週間以内に完了できるようになりました」。

患者サポートサービスの強化

複雑な基幹業務データをマスター化する強固な基盤を構築したAmgen社は、すべてのアプリケーションにわたって唯一真実のソースを確立して、自社の商業目標をサポートしています。また、この基盤は、顧客関係管理（CRM）、患者サポートサービス、マーケティングのアプリケーションと（多くの場合はリアルタイムで）統合されます。このような可視性は患者サポートにも直接影響を及ぼします。例えば、患者がAmgen社に問い合わせると、担当者は患者および過去と現在の治療に関連する製品、医療機関、処方医師などを即座に把握できます。

「Informatica MDMに基づくアナリティクスにより、健康上の問題が発生する前に予防的な治療を行うよう医療機関に通知できます。これは事後的な治療よりもはるかに効果的です」

Adi Rapaka氏
マスターデータ管理担当ディレクター
Amgen社



ソリューションの内容：

- Informatica Multidomain MDM
- Informatica Data Quality
- Informatica Data Integration Hub

Maddileti氏は、次のように述べています。「Informatica MDMは、当社のあらゆる商業目標を達成する上で欠かせないソリューションです。最先端のMDMソリューションとリアルタイムのデータ統合により、患者サポートサービスも強化できました。インフォマティカのソリューションがなければ、これほど迅速に患者サービスを提供することはできなかったでしょう」（前出Maddileti氏）。

より多くの患者を救うために

MDMに基づくデータサイエンスにより、Amgen社は処方率の低い病院やクリニックの市場シェア拡大を支援できます。その結果、より多くの患者を支援して命を救えるようになります。また、医療機関との関係を強化して、収集した膨大なデータから副作用に関する個別のインサイトをタイムリーに引き出すことで、自社製品の価値を高められます。

「Informatica MDMに基づくアナリティクスにより、健康上の問題が発生する前に予防的な治療を行うよう医療機関に通知できます。これは事後的な治療よりもはるかに効果的です」（前出Rapaka氏）。

インフォマティカ 〒105-6226 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階
電話：03-6403-7600(代表) FAX：03-3433-1021
www.informatica.com/jp | [Facebook](#) | [Twitter](#) | [LinkedIn](#)

IN05_3659_0219



© Copyright Informatica LLC 2019

インフォマティカの商標の最新版は、<https://www.informatica.com/jp/trademarks.html>をご覧ください。本文書に含まれる情報は、予告なく変更されることがあります。本文書の記載内容に問題がある場合は、Informatica LLC 2100 Seaport Blvd. Redwood City, CA 94063 USAまで書面にてご報告ください。本文書の情報は現状有姿のまま提供されます。商品性、特定目的への適合性、および権利侵害の不在の保証を含むがこれらに限定されない保証は、明示、黙示を問わず一切提供されません。